**第９期鎌ケ谷市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（案）について（概要）**

**１　計画策定の目的・経緯**

「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」は、３年を１期として、老人福祉法第２０条の８に規定する高齢者に関する施策事業の確保を定める「老人福祉計画」と介護保険法第117条に規定する要介護高齢者等に対するサービス目標量や整備方針等を定める「介護保険事業計画」を一体化したものです。

令和５（2023）年度が３か年の計画期間の最終年度となることから、現計画の進捗状況を踏まえ、令和６（2024）年度から令和８（2026）年度までを期間とする第９期計画を策定し、併せて市民等から幅広く意見を聴取するためにパブリックコメントを実施します。

※計画（案）の策定時点では、下記章内の数値については空欄の箇所や今後変更の可能性がある数値となっています。

　第５章　介護保険事業の効果的な運営

　　　　　　給付費及び地域支援事業費の推計（P99）、介護保険料の設定（P100～102）

**２　計画の期間**

令和６（2024）年度から令和８（2026）年度までの３か年

**３　計画の策定方針**

（１）本計画は、法定計画であるため、国の示す計画策定に向けたポイントを十分に踏まえるとともに、介護保険サービスとそれ以外のサービスを組み合わせ、介護予防や健康づくり、生きがいづくりなど高齢者に関する各施策の総合的な推進を図るよう策定します。

（２）特に、団塊の世代が７５歳以上となる令和７（2025）年、さらにはいわゆる団塊ジュニア世代が６５歳以上となる令和２２（2040）年に向けて、高齢化の状況や介護需要が異なってくることから、本計画では中長期的な視野に立って、人口動態に見合った介護サービス基盤を確保していきます。

（３）今後、高齢化が進展していく中で、可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるよう、「介護」「医療」「介護予防」「生活支援」「住まい」を一体的に提供する地域包括ケアシステムをより深化・推進していきます。また、地域包括ケアシステムを支える介護人材の確保及び介護現場生産性向上に取り組むものとします。

**４　現行計画からの変更点**

第９期計画では、現行計画からの大きな変更はありませんが、鎌ケ谷市総合基本計画前期基本計画等との整合性を図ったうえで、国の基本指針案においてポイントとして示す「介護サービス基盤の計画的な整備」、「地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取組」、「地域包括ケアシステムを支える介護人材確保及び介護現場の生産性の向上」の３点を踏まえ、現サービスをより充実していきます。

**５　計画の内容**

**（目指す姿）　住み慣れた地域で支えあい、安心していきいきと暮らせるまち　かまがや**

**基本目標１　地域包括ケアシステムの深化・推進　　　（計画案　P42～53）**

**基本目標２　活力ある高齢者の活動支援　　　　　　　（計画案　P54～57）**

**基本目標３　高齢者が安心して暮らせる環境の整備　　（計画案　P58～63）**

**基本目標４　介護保険事業の適正な運営　　　　　　　（計画案　P64～68）**

|  |  |
| --- | --- |
| **重点施策** | **内容** |
| 1. **在宅医療・介護連携の推進（P42～45）**
 | 　住み慣れた地域で在宅療養（医療と介護の提供）ができるよう、医療と介護双方が連携して、包括かつ継続したサービスの提供を行います。 |
| 1. **認知症施策の推進（P46～49）**
 | 今年度成立した認知症基本法に基づき、共生社会の実現の推進を目指し、認知症の人やその家族への効果的な支援を行います。 |
| 1. **健康づくりの充実と推進（P54、55）**
 | 介護予防や健康増進につながる「住民主体の通いの場」の拡充など、高齢者の社会参加を促進する施策により介護予防の充実を図っていきます。 |
| 1. **日常生活を支援する体制の整備（P58～60）**
 | ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が安心して暮らせるよう、見守りや多様な生活支援、住宅改修や住み替え支援、災害や感染症対策などの取組を進めていきます。 |
| 1. **介護サービスの適正な利用と制度の円滑な推進（P64、65）**
 | 高齢者やその家族が、ニーズに合う多様な介護サービスを利用できるよう支援を行います。また、費用負担の適正化により、健全で安定した介護保険制度を運営していきます。 |
| 1. **介護サービスの質の向上（P66、67）**
 | 介護事業所への指導・支援を通して介護サービスの質の向上を図ってまいります。また、現在の介護人材不足と現役世代（担い手）の減少を鑑み、研修受講費の助成など介護人材の確保に向けた取組を進めます。 |